

平成 28 年 5 月 16 日

報道関係各位

ダイドードリンコ株式会社
公益社団法人 日本ストリートダンススタジオ協会

5年目となる東北復興支援が更なる進化 宮城県教育長表敬訪問&ロコモ対策ダンス授業の報道公開のご案内



ダイドードリンコ株式会社では、「子どもたちがダンスを通じて明るく元気になってほしい」との想いから、東北復興支援の一環として、「踊育（だんいく）ー東北ダンスプロジェクトー」を平成 24 年度より公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会（以下NSSA）の協力のもと、実施しております。

5年目を迎える今年度は、学校での健康診断に児童/生徒の運動器検査が必須項目として追加されたことを鑑み、運動器の機能向上や改善が期待出来るダンス（ロコモダンス体操 東北ダンスプロジェクト 2016 年度版）を取り入れ、社会問題となりつつある子どもの運動器の機能障害の対策にも取り組んで参ります。

つきましては下記のとおり、①ダイドードリンコ（株）による宮城県教育長への表敬訪問、並びに、②仙台市立 鶴谷中学校でのダンス授業の報道公開をさせていただくこととなりましたので、ご案内いたします。
※写真は昨年度実施の「岩手県庁表敬訪問」と「ダンス授業」の様子

記

① 宮城県教育長表敬訪問

日 時：平成 28 年 5 月 23 日（月）9 時 20 分 ～ 9 時 35 分

（なお、県政記者クラブにて 10 時 00 分より約 15 分間の記者の皆様向けレクチャー及び質疑を予定）

会 場：宮城県教育庁 教育長室（宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1）

訪問者：ダイドードリンコ（株） 広報・IR 部（副部長 平田 勇人）

東北第一営業部（部長 金澤 幸夫/島野 勉）

（公社）日本ストリートダンススタジオ協会 代表理事 吉田 健一

●記者レクチャーの際、県政記者クラブにて学校の健康診断の前に各家庭でおこなう保健調査票で実施されている運動器の確認の実演をおこないます。また、ロコモダンス体操をダンスインストラクターが披露し、効果の解説を行います。

② 中学校での運動器の機能の向上や改善が期待出来るダンス授業の報道公開

日 時：平成 28 年 5 月 23 日（月）13 時 35 分 ～ 14 時 25 分

（13 時 15 分に鶴谷中学校 正門前にご集合ください）

会 場：仙台市立鶴谷中学校 体育館（仙台市宮城野区鶴ヶ谷 5 丁目 24 番地）

内 容：生徒を対象にロコモチェックを行い、生徒の運動器の状態を確認します。その後、ロコモダンス体操東北ダンスプロジェクト 2016 年度版にてダンス授業を行います。

対 象：2 年生 73 名

取材対応者：鶴谷中学校教員 1 名、生徒 3 名、ダイドードリンコ担当者、NSSA 担当者

【補足説明】

1. ロコモティブシンドロームについて

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）とは、骨や関節の病気、筋力の低下、バランス能力の低下によって転倒・骨折しやすくなることで、自立した生活ができなくなり介護が必要となる危険性が高い状態を指しています。（厚生労働省健康局がん対策・健康増進課（2013）『健康づくりのための身体活動指針（アクティブガイド）』より）

文部科学省の「平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」によると、学校の体育以外で1週間に取り組む運動時間が0分～60分未満の児童生徒の割合が、小学生男子6.6%、小学生女子12.9%、中学生男子7.1%、中学生女子では20.9%にものぼり、児童生徒が運動不足であるということが発表されました。運動不足は小児肥満やこどものメタボリックシンドロームを引き起こし、またロコモティブシンドローム（運動器症候群）にもなりかねません。宮崎大医学部の調査によると、児童生徒約8,000人の大規模調査で、約23%の子どもたちがロコモティブシンドローム予備軍だと診断されました。（NHK クローズアップ現代より）

2. 健康診断での運動器の状態の確認について

平成28年度より全国すべての学校での健康診断で児童生徒の運動器の状態を確認することが必須項目となりました。まずは、家庭で児童生徒の運動器の状態の確認をおこない、異常が確認された児童生徒は、学校での健康診断の際に学校医より再度、運動器の確認がおこなわれます。

宮城県では、宮城県教育委員会のホームページに家庭での運動器の確認用に掲載されている「保健調査票」に基づき運動器の状態の確認を実施します。

3. ロコモダンス体操について

ダンスと体操の要素がミックスした運動プログラムで、運動器の機能の向上や改善に効果が期待できる体操の要素を踏まえ、リズムに乗って誰もが簡単に楽しく継続的に取り組むことができるよう、ダンスの動きで構成された運動器症候群（ロコモティブシンドローム）予防のためのダンスプログラムです。

制作： 公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会

監修： 国立研究開発法人国立循環器病研究センター 予防検診部
名古屋学院大学リハビリテーション学部

《10時00分から記者の皆様向けのレクチャーを実施致します》

レクチャーでは、なぜ今年度から子どものロコモティブシンドローム対策のダンスを実施することにしたのか、その背景をご説明させていただきます。

また、今年度から学校の健康診断に運動器の検査項目が加わったことに関して、その検査方法などの詳細と子供の運動器の問題について、宮城県教育委員会で取り組んでいる児童生徒の運動不足に対する取り組み例を宮城県教育委員会スポーツ健康課ご担当者様よりご説明いただきます。

NSSAより、今年度から宮城県、福島県、岩手県にて実施するロコモダンス体操の効果とダンスの解説をご説明させていただきます。

※ 「踊育（だんいく）」に関する概要につきましては、別添資料をご参照ください。

(別添資料)

「踊育(だんいく)- 東北ダンスプロジェクト-」について

1. 経緯

ダイドードリンコ(株)では、東日本大震災の発生を契機に、継続的な社会貢献活動の実現を目的とした「地域コミュニティ貢献積立金」を設けております。

この積立金を活用した社会貢献活動の一つとして、東北エリアの“絆”を側面からサポートすることをテーマに、平成24年より「踊育(だんいく)-東北ダンスプロジェクト-」を実施しております。

この取り組みは、被災地の子どもたちが体を動かす場が少ないという現状や、学校教育におけるダンス授業が導入されるなどを契機に、「ダンスを通して明るく元気になってほしい」との願いから生まれたものです。

2. 「地域コミュニティ貢献積立金」について

「自然」「社会」「人」が関わりあい共存していく中、当社グループの発展は豊かな地域社会の実現にあるべきとの考えから、継続的な社会貢献活動の実現を目的とした「地域コミュニティ貢献積立金」を設けております。本積立金は一時的な支援に止まらず、地域の活性化に向けた継続的な社会貢献活動に取り組むことを目的とし、単年度の業績に左右されることなく中長期的な支援を可能とするために、こうした目的積立金の方式を採用しております。

3. 実績と今後の予定

公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会の協力のもと、岩手県、宮城県、福島県の3県において年間約100校の小学校や幼稚園でのダンス授業、そして教員向けダンス研修会を実施。これまでに延べ333校、28,873人の子どもたちに参加いただいております。

	平成28年度予定		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	学校数	対象人数	学校数	対象人数	学校数	対象人数	学校数	対象人数	学校数	対象人数
岩手県	31	-	36	2,549	35	2,822	36	2,823	11	743
宮城県	35	-	35	3,205	35	3,682	36	2,810	9	1,011
福島県	34	-	30	2,717	31	3,208	29	2,286	10	1,017
合計	100	-	101	8,471	101	9,712	101	7,919	30	2,771



岩手県: 山田町立船越小学校



宮城県: 仙台市立国見小学校



福島県: 会津若松市立神指小学校

以上

*** 本報道資料に関するお問い合わせ ***

ダイドードリンコ株式会社 広報・IR部 担当: 正本、梅垣
〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー18F
TEL 06-6222-2621 FAX 06-6222-2623
当日の連絡先: 080-5229-9921 (梅垣)